

播磨科学公園都市 まちびらき1周年フェスティバル 延べ3万人の人出でにぎわう



たくさんの参加者でにぎわったビンゴ大会



特賞ロサンゼルス5日間の旅は
9歳の男の子の手に!



人気を集めた牛の丸焼き



子どもの歓声でにぎわった
キャラクターショー



幻想的なネオンアート
とってもきれいでした!

11月14日(土)、播磨科学公園都市で、まちびらき1周年を記念して、多彩な催しが繰り広げられました。

兵庫県企業庁や地元3町、商工会などが主催したもので、延べ3万人の人出でにぎわいました。

会場の芝生広場では、牛の丸焼きや焼きそば、おでんなどの飲食店や特産品の販売、ゲームコーナーなどの模擬店でにぎわう中、郷土芸能やキャラクターショー、歌や踊りが演じられ、歓声が響きわたりました。

ビンゴ大会では、約4,600枚のカードを手にした人達でステージ前が埋めつくされました。特賞のロサンゼルス5日間の旅は、最後までなかなか出ませんでした。ついに新宮町在住の9歳の男児が引き当てました。

午後5時からネオンアートが点灯。10色1,000本のネオン管を使い、光の道や星、山、魚などが浮かび上がりました。

その他、SPring-8の見学会や日本将棋連盟内藤雄九段を招いての将棋フェスティバルなども催され、みなさん楽しい一日を過ごしました。

放射光の研究開発を支援

県立先端科学技術支援センター

第2期施設が完成

11月11日(水)、播磨科学公園都市で整備が進められていた「先端科学技術支援センター」の第2期工事が完成し、同センターで竣工式典が行われました。

同施設は、研究者や技術者の交流拠点であり、このたび全体が整備されたことで、産・学・官の交流がより広がり、大型放射光施設を利用した研究開発の支援も進められ、科学技術の発展に大きな期待が寄せられています。

第2期施設は、バイオテク
ノロジーや材料の試験・分析
室(3室)や貸し研究室(15
室)を備える研究開発支援棟
と、県内企業と共同で放射光
に関連した研究などを行う県
立姫路工業大学高度産業科学
技術研究所棟からなっていま
す。

規模は、鉄筋コンクリート
造の地下1階、地上4階建て、
延床面積は9,998㎡。正面
全面は総ガラス張りのスロー
プ棟、外壁はコンクリートの
打ち放しの建物で、周辺には
緑豊かな再生林が植栽されて
います。



完成した先端科学技術支援センター第2期施設